

医療・福祉

薬だけ知識

90

タスクシフト/シェアという言葉をご存知でしょうか？ 医師の過剰な長時間労働を是正するために、医師が担っている業務の一部を他の医療スタッフに任せたり(シフト)、分担したり(シェア)することです。

医師の働き方改革が2024年4月から始まり、薬剤師がタスクシフト/シェアを担える業務として、厚生労働省から具体例が示されています。

医師が抱えていた業務を一部担うことになるので、従来の業務に加え、新たな発見的業務を多く含みます。ここで一つ、疑問に思いませんか？ 今度は

タスクシフト/シェア



抗がん薬を調製するロボット

薬剤師が長時間労働になるのではないかと。当然、薬剤師も現状のまま、仕事だけを増やすわけにはいきません。

効率化進む薬剤師業務

対策の一つとして、薬剤師以外にタスクシフト/シェアすることが挙げられます。いわばドミノ式に業務を担うわけですが、あらゆる業務をタスクシフト/シェアすることはできません。法令順守を前提に、最終的には薬剤師が責任を取る必要があります。

薬剤師は患者さんの目の届かないところで、薬の量は適切か、薬同士の組み合わせで問題はないか、薬で副作用が出ていないかなど安全に薬を使用するための『最後のとりで』の役目を担っています。最近では業務をサポートする調剤ロボットや薬剤師業務に関連したシステムが開発され、従来業務にかかる時間を短縮し、新たな業務への時間を捻出しています。

どれだけ機械の恩恵を受けても、人間である薬剤師の職能を発揮すべき業務はまだ多いと感じています。薬剤師業務は大きな変革期を迎えているのです。(鹿児島県薬剤師会実務実習委員会委員・深水知英)

令和7年5月6日(火)
90・タスクシフト/シェア